

## 安全データシート

改訂日: 2021年4月15日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

整理番号

炭酸水素アンモニウム

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

CB1868

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分4

皮膚腐食性/刺激性: 区分2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

警告

飲み込むと有害

皮膚刺激

強い眼刺激

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する時は洗濯すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

分解により有害なアンモニアガスを発生する。

注意書き

GHS分類区分に該当しない他の危険有害性

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

危険有害成分

化学物質

炭酸水素アンモニウム

重炭酸アンモニウム

NH<sub>4</sub>HCO<sub>3</sub>

CAS RN: 1066-33-7

炭酸水素アンモニウム NH<sub>3</sub>として20~30%

(1)-310 (1)-141

炭酸水素アンモニウム

## 4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く。皮膚を流水/シャワーで洗う。

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

水でうがいさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

吸入: 咳、咽頭痛

眼: 発赤、痛み

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末消火剤、泡末消火剤

|                       |                                            |
|-----------------------|--------------------------------------------|
| 使ってはならない消火剤           | 該当情報なし。                                    |
| 特有の危険有害性              | 分解により有害なアンモニアガス、CO <sub>2</sub> を発生する。     |
| 特有の消火方法               | 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移す。移動不可能な場合は散水して冷却する。 |
| 消火を行う者の保護             | 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置             |                                            |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | 作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。       |
| 環境に対する注意事項            | 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。               |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材       | 粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す    |
| 二次災害の防止策              | 該当情報なし。                                    |
| 7. 取扱い及び保管上の注意        |                                            |
| 取扱い                   |                                            |
| 技術的対策<br>(局所排気、全体排気)  | 適切な保護具を着用する。                               |
| 安全取扱い注意事項             | 局所排気または全体換気を行なう。                           |
|                       | 粉じんを吸入しないこと。                               |
|                       | 目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。              |
|                       | 強酸化剤、強塩基、酸との接触を避ける。                        |
|                       | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。                  |
|                       | 取扱い後は手などをよく洗うこと。                           |
| 接触回避                  |                                            |
| 衛生対策                  |                                            |
| 保管                    |                                            |
| 安全な保管条件               | 容器を密閉し、涼し換気の良いところに保管する。                    |
| 安全な容器包装材料             | ポリプロピレン                                    |
| 8. 暴露防止及び保護措置         |                                            |
| 許容濃度(出典)              |                                            |
| 管理濃度                  | 未設定                                        |
| 日本産業衛生学会              | 未設定                                        |
| ACGIH                 | 未設定                                        |
| 設備対策                  |                                            |
| 保護具                   | 局所排気装置を設置する。                               |
| 呼吸用保護具                | 呼吸器用保護具を着用すること。                            |
| 手の保護具                 | 保護手袋を着用すること。                               |
| 眼の保護具                 | 保護眼鏡、保護面を着用すること。                           |
| 皮膚及び身体の保護具            | 呼吸器用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。          |
| 9. 物理的及び化学的性質         |                                            |
| 物理状態                  | 無色透明の結晶                                    |
| 臭い                    | アンモニア臭                                     |
| 融点・凝固点                | 35～60℃                                     |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲          | 該当情報なし。                                    |
| 可燃性                   | 該当情報なし。                                    |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界     | 該当情報なし。                                    |
| 引火点                   | 該当情報なし。                                    |
| 自然発火温度                | 該当情報なし。                                    |
| 分解温度                  | 60℃で分解昇華する。                                |
| pH                    | 約8 (20℃, 50g/L)                            |
| 動粘性率(粘度)              | 該当情報なし。                                    |
| 溶解度                   | 10.6g/100g (0℃ 水)                          |
| n-オクタノール/水分分配係数       | 該当情報なし。                                    |
| 蒸気圧                   | 該当情報なし。                                    |
| 密度及び/又は相対密度           | 1.57                                       |
| 相対ガス密度                | 該当情報なし。                                    |
| 10. 安定性及び反応性          |                                            |
| 反応性、化学的安定性            | 熱に不安定で60℃で分解する。空気中に放置するとアンモニアを発揮して重炭酸塩になる。 |
| 危険有害反応可能性             | 酸と激しく反応する。強塩基、強酸化剤と反応する。                   |
| 避けるべき条件               | 湿気、高温、直射日光                                 |
| 混触危険物質                | 強酸化剤、強塩基、酸                                 |
| 危険有害な分解生成物            | 該当情報なし。                                    |

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

## 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

## 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

## 呼吸器感受性又は皮膚感受性

## 生殖細胞変異原性

## 発がん性

## 生殖毒性

## 特定標的臓器毒性(単回暴露)

## 特定標的臓器毒性(反復暴露)

## 誤えん有害性

## 経口:

LD50ラット 1567mg/kg (区分4)

皮膚に対して刺激性があり、EU-Annex I でR36/37/38に分類されている。(区分2)

眼を刺激し、EU-Annex I でR36/37/38に分類されている。(区分2)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

短期:  
(急性)

該当情報なし。

長期:  
(慢性)

該当情報なし。

## 残留性・分解性

該当情報なし。

## 生体蓄積性

該当情報なし。

## 土壤中の移動性

該当情報なし。

## オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

## 国連番号

—

## 品名(国連輸送名)

—

## 国連分類

—

## 容器等級

—

## 国内規制がある場合の規制情報

## 陸上輸送

消防法の規定に従う。

## 海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

## 航空輸送

航空法の規定に従う。

## 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

## 応急措置指針番号

—

## 15. 適用法令

## 化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

## 毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

## 労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

## 消防法

危険物に該当しない。

## 16. その他の情報

## 参考文献

The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vol.3

国際化学物質安全性カード(ICSC)

16615の化学商品(化学工業日報社)

GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)

GHSの挑戦(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。